



エコ・ファーストの約束

— 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み —

2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎殿

旭化成ホームズ株式会社
代表取締役社長 川畑 文俊

旭化成ホームズグループは、「LONGLIFE」を軸とした「いのち・暮らし・人生」を支え続ける商品・サービスの提供を通して、環境への配慮を行い、持続可能な社会の実現に貢献します。

1.再生可能エネルギーの活用等を通して、脱炭素社会の実現に貢献します。

- Scope1+2 :2030年度に2017年度よりGHGを55%以上削減し、2050年までに実質ゼロを目指します。
- Scope3 :2030年度に2017年度よりGHGを35%以上削減し、2050年までに実質ゼロを目指します。
- ・販売・施工する戸建て住宅「ヘーベルハウス」及び賃貸住宅「ヘーベルメゾン」に設置された太陽光発電設備による再生可能エネルギーを、当社の電気事業「ヘーベル電気」にて買取り、積極的に事業に活用してRE100を実現します。
- ・賃貸住宅「ヘーベルメゾン」の屋根をオーナーから借上げ、太陽光発電を行い、その電力を事業の脱炭素化に活用します。
- ・新築戸建て住宅のZEH化及び賃貸住宅のZEH-M化を積極的に推進します。(2025年度目標：ZEH率85%、ZEH-M率80%)
- ・協力会社と連携して物流を効率化し、環境負荷の低減とドライバーの労働環境改善を推進します。
- ・上記の取り組みを通じ、サプライチェーン全体のGHG排出量を把握し、その取組状況を公開してSBT目標の達成を目指します。

2.循環型社会の実現に向け、「住み続ける」「引き継ぐ」「住み継ぐ」の価値を高め続けます。

- 「60年無料点検システム」による「住み続ける」・「引き継ぐ」価値の実現
 - ・構造躯体や防水・外装等において、築後60年先までの無料点検など、お客様に適切なメンテナンスを提案し、実施して頂くことで、長期間にわたり安全で快適な「住み続ける」価値を提供いたします。
 - ・相続やリフォーム相談のサポートなどの「引き継ぐ」価値を実現するサービスを提供します。
- 不動産、リフォーム事業での「住み継ぐ」価値の実現
 - ・高耐久な構造躯体を活かし、グループ会社にて売買・仲介事業や適切なリノベーション事業を行うことで、「住み継ぐ」価値を実現します。
- ゼロエミッションの継続
 - ・新築施工現場で発生した特定建設資材を含む産業廃棄物を、当社の資源循環センターにて分別処理し、ゼロエミッション・100%再資源化を継続します。

3.生態系ネットワークの再生・保全を積極的に推進します。

- 地域の生態系ネットワーク再生・保全への取組
 - ・「住宅総合技術研究所」の敷地内にて、地域の原風景再生を目指した森づくり「あさひ・いのちの森」で、地域の大学と連携した継続的な生態系の調査研究や、地域住民に自然とのふれあいの場の提供を行っています。
 - ・グループ会社「旭化成住工株式会社」の敷地内にある「湯屋のヘーベルビオトープ」にて、滋賀県レッドデータ・重要種であるヨツボシトンボの保全を推進します。
- 都市におけるエコロジカルネットワークの構築
 - ・「あさひ・いのちの森」で培った知見を活かした、階層構造をもった植栽のパッケージ「まちもり」を毎年請負物件の半数以上に採用することを目指し、戸建て住宅やマンションの外構と周囲の緑がつながることでエコロジカルネットワークが形成されることを目指します。

4.従業員や子供たちへの教育、地域の繋がりを活用した環境意識の向上に積極的に取り組みます。

- ・従業員を対象とした環境教育と情報セキュリティ教育を継続して実施し、ITツールを活用したペーパーレスやオフィスでの廃棄物の分別処理等を通して省エネを推進します。
- ・出張授業やイベント等を通して、次世代を担う子どもたちの環境への興味・理解を深める活動を継続します。
- ・当社のコミュニティ醸成サービス事業を活用し、リサイクルプログラムやイベント等を通して、コミュニティの環境意識の醸成を支援します。
- ・グループ会社「旭化成住工株式会社」にて、「ゴミゼロの日」を設定し、工場内と敷地周辺道路の清掃活動を継続します。
- ・社員の環境意識を高めるために、eラーニング等で継続的に教育を実施します。

旭化成ホームズ株式会社は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告、ならびに定期的なサステナビリティレポートなどによる公表を行ってまいります。

AsahiKASEI
旭化成ホームズ

HEBEL HAUS
ALL for LONGLIFE